



美しい山・川・海
人が躍動する 交流と共生のまち

ふるさと 香 美

今月号の主な内容

- ・お年寄り、元気で長生き、いきいきと暮らせるまち … P. 2 ~ 3
- ・香美町こども議会開催 … P. 4 ~ 7
- ・魅力あふれる香住海岸景観情報発信事業 … P. 8
- ・下水道に接続しましょう … P. 9
- ・火災を想定、防災訓練実施 … P.10
- ・こんにちは町長です
- ・各支団消防操法大会開催 … P.11
- ・行政トピックス … P.12 ~ 17
- ・まちの出来事 … P.18 ~ 19
- ・キラリ香美町 … P.20
- (別冊 けいじばん、いきいきカレンダー)



【写真】爆笑三輪車リレー、よいいドン！

第 34 回村岡ふる里まつり

8月4日、村岡商店街を歩行者天国にし、「第34回村岡ふる里まつり」が盛大に開催されました。

イベントの一つ、大人が小さな三輪車に乗って400mのコースをリレーする第5回爆笑三輪車リレー大会では、コース途中のミニゲームで選手の顔がケチャップまみれになるなど、応援する観客も大爆笑でした。

9

香美町広報
平成19年9月号
(第30号)

お年寄りが、元気で長生き、いきいきと暮らせるまち

香美町の高齢化率（人口における65歳以上の高齢者が占める割合）は、30・2%（平成17年国勢調査）です。これは、県内で、佐用町（31・7%）、養父市（30・9%）に次いで3番目に高い数値です。また、町内の100歳以上の方は、9人（香住区2人、村岡区2人、小代区5人、9月1日現在）です。

町では、介護予防教室などへの参加を促すとともに、外出支援サービスなど高齢者の生活支援事業に取り組み、高齢者の皆さんが安心して暮らしていただけるまちづくり、誰もが元気で長生き、いきいきと暮らせるまちづくりを進めています。

今回は、高齢者保健福祉月間になみ、私たちのお手本となる、元気で長生きされており、さまざまな分野でご活躍のお年寄りを紹介します。



▲9月4日、町長からお祝いの花束を手渡された藤村さん

町内最高齢104歳 小代区大谷 藤村とくさん

昔は豆腐屋を営んでおられたという藤村さん。長生きの秘訣を聞くと、「今でも豆腐はよく食べますし、野菜や果物も好きです。好き嫌いがなく食べる量も多いんですよ」とご家族も感心するほど。

藤原町長が「長生きされていいですね」と語りかけると、「まんだ長生きせんなんです」としつかり返事をされました。昔から歌が好きでよく歌われ、人中出现することも好きだったそうです。ご家族の手厚い介護もあり、元気に過ごしてられます。

香住区



わら細工に心を込めて 香住区中野 小谷いさ子さん（88歳）

5年前に亡くなった夫の時之助さんの意思を引き継ぎ、わらぞうりやしめ縄のほかに、ビニールひもで編んだミニぞうりなど、わら細工づくりに精を出す小谷さん。ミニぞうりは、お守りとしても大変好評。遠くからもわら細工を教わりに来る人もあり、「遊んどる時間をもったいないので、何かしよう」と始めたこと。大したこともしていませんが、ひとに欲しいと言われると、うれしいうれしい、あげんなんと思つて、きばつて作ります。今年も稲刈りが終わると、しめ縄作りが始まります。欲しいと言つてくださる方がおんなるでね」と少し照れながら語つておられました。

アジサイロード19年

香住区米地 橋本三郎さん（84歳）

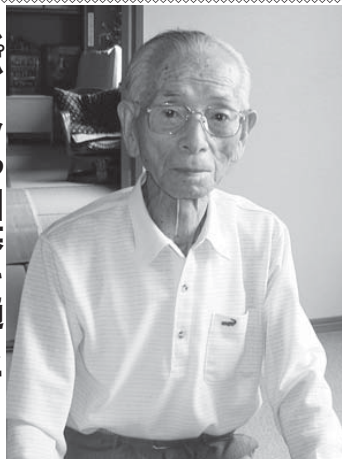
米地の集落へ延びる町道九斗米地線の沿道約700mは、毎年6月になると、1千本以上の色とりどりのアジサイが訪れる人を出迎えてくれます。平成元年にアジサイの苗を取り寄せて以来、橋本さんが築き上げてきたアジサイロード。ほかにサザンカ300本などいろいろな花も植えられています。ほぼ毎日、雨の日も雪の日も朝と夕方に計6時間ほどかけ、花の世話をされています。橋本さんは「好きでやっているとは言いながら、気がついたら19年もたつていました。地区の人や訪れる人が喜んでくださると、やりがいを感じます。あまり気を張らずにぼつぼつやつとります」と話しておられました。



村岡区

スポーツや囲碁を通して

村岡区相岡 岸仁さん（93歳）



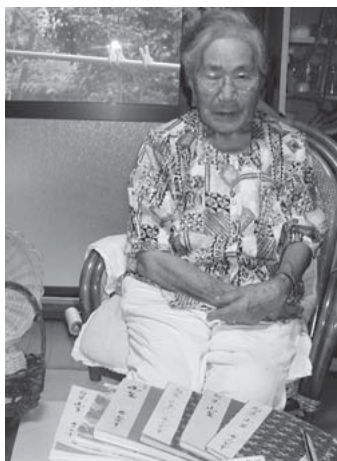
昭和62年に45年勤めた教師生活を終え、神戸からふるさととの相岡に帰郷。囲碁クラブや老人クラブなどの会長を長く務められました。囲碁は5段の腕前で、現在も各種大会で優秀な成績を収められています。また、体育教師をしています。たこともあり、スポーツに関心が高く、グラウンドゴルフを村岡に広められたのも岸さん。岸さんは「自分ができることは一生懸命にやります。これから一人でも多くの方にスポーツに興味を持ってもらい、健康づくりや仲間づくりに参加してもらえよう頑張っていきたい。また、スポーツをするからには勝つことにこだわりをもち、同じ年代同士で競うことができるよう年代別のマスターズの大会を開催することが今の目標です」と志を力強く語っておられました。

俳句40年以上、藤工芸20年以上 村岡区福岡 井上りせさん（90歳）

昭和39年から始め、今でも月に一度村岡区中央公民館で開かれる俳句の会に参加し、楽しんでおられます。今までに数多くの俳句を詠み、それを自ら手づくりの本や巻物にして残されています。とにかく、俳句を詠むことが好きで、旅先はもちろん、普段の生活のなかでも常に紙とペンを近くに置き、浮かんだことを書き残すようにされています。後で読み返し、そのときの風景や想いを懐かしく思い出されているそうです。

複雑で細かい作業が必要となる藤工芸も20年以上続けられ、現在、8名で月に一度兎塚地区公民館で作品づくりに励んでおられます。

「子どもたちが、いっしょに住もうと言ってくれますが、村岡が好きで今の生活がとても私には合っていて、このまま好きなことを楽しんでいるいきたい」と今の思いを語っておられました。



小代区

「家で寝るのが嫌いです」 小代区貫田 宮脇仙太郎さん（93歳）



昔は土建会社勤め、傍ら農業も、冬には酒屋へ出稼ぎもされていたそうです。小学校を卒業してから、約80年間、米と野菜を中心に農業に携わっておられます。

とれた作物は自宅で食べるほか、尼崎市との交流事業のアンテナショップや小代区内の朝市で販売しておられます。肥料なども自分で手配され、農薬をなるべく使わないように気をつけ、大切に育てているそうです。亡くなられた奥さんといっしょに98袋もの米を作ったこともあると懐かしげに振り返られました。「今も暇があつたら山や畑に行き、農作業に精を出します。家で寝るのが嫌いで、外に出て体を動かした方が好きです。これから頑張つて農業をやっていききたいです」と元気いっぱい宮脇さんです。

華道・茶道教室を通じて 小代区平野 福田美代子さん（83歳）

生まれは四国。尼崎市で華道・茶道を生流を学び、華道50年、茶道は11年の経歴。小代区に嫁ぎ、しばらくは、個人的に楽しんでおられました。地元の人たちからの教えを欲しいとの声にこたえ、華道教室を2カ所で月2回ずつ、また、茶道教室「いちようの会」を月に2回開いておられます。教室では、教える立場としてではなく、同じ立場に立って楽しんでもらえるように心がけているとのこと。小代小学校・中学校の卒業式では、立派な生け花を15年間生け続けていただいています。福田さんは「皆さんに喜んでもらえて本当に嬉しい。これまで長い間やってこれたのは、主人の協力があつたからこそ。いくらやっても、少しでも休んでしまうと、駄目になってしまう。継続は力なりと言いますが、やはり続けていくことが大事です」と話しておられました。



香美町こども議会開催

わたしたちも真剣、ふるさとがもつとよくなるように。



8月11日、役場議場で「香美町こども議会」を開催しました。これは、町内の子どもたちに、子どもたちの目線で気づいたり思ったりしたことについて、質問や提案をしてもらい、将来のまちづくり役立てようと企画したもので、合併後初めて開きました。町内の10小学校、6中学校から選出された計16名の子どもたちが、議員として議席に立ち、一般質問を行いました。

小学生は、1人10分の持ち時間のなかで、主に自分の住んでいる地域に関係したことについて質問しました。また、中学生は、6月22日から7月5日にかけて事前に藤原町長が各中学校で行った町政説明会の内容を基に、1人15分の持ち時間のなかで、町の政策や課題について質問を行いました。

16人の「こども議員」は、緊張しながらも順番が来ると町当局に対し、鋭い質問を投げかけていました。紙面の都合により、質問の一部（二人一問）を紹介します。



▲各中学校で行った町政説明会の様子

佐津小学校6年松下朋由（ともゆき）議員



ぼくは、毎日、スクールバスで登下校をしています。バスから見える訓谷や安木の浜はともきれいで、いろいろな人に自慢したい気持ちです。この豊かな「海・山・川」を守るために、ぼくは「自然破壊をしないこと」や「あちこちにゴミをすてないこと」などが大切だと思っています。特に、森林を伐採し自然を壊す大きなゴルフ場などの計画はあるのでしょうか。

【町長】きれいな海岸にゴミが散乱したり、汚い排水が海に流れれば、せっかくのきれいな景色も台無しです。水や空気を汚したり、ゴミを捨てないように町民や町を訪れる観光客の人たちの協力が必要です。

町では、ゴミを捨てないように呼びかける看板を設置したり、パトロールを行っています。

なお、山を切り開くなど、大きな工事が必要なゴルフ場の建設には、さまざまな条件を満たして初めて、工事の許可が下りるようになっていきます。

町内では、現在のところそのような計画はありません。

村岡小学校6年 今岡 夏未（なつみ） 議員



日本は災害の多い国です。特に地震国です。先月にも、新潟県で大きな地震があり、たくさんの方々が被害を受け、犠牲者も出ました。また、香美町でも数年前に大きな地震が発生しています。

私は、今度また大きな地震が起きたとき、香美町内の小中学校の校舎は、大丈夫か心配です。町内の学校の耐震調査や地震対策はどの程度進んでいますか。

【教育長】 町内には、26の学校があり、建物は54棟ありますが、このうち約半分はこれから改修しなくてはならない建物です。昨年、改修の必要な建物の安全性について、すべて調査を行いました。今後、順番を決めて直していくよう考えています。また、各学校では、避難訓練や引渡し訓練などを実施し、日ごろから地震などの災害に対する備えを怠らないようにしています。

射添小学校6年 中島 美子（みこ） 議員



「中学校統合」について、統合して他の地域の人たちと交流し友達をつくることはとてもいいことだと思いますが、統合すると私たちの生活を変えていかなければなりません。とても難しい問題だと思います。町としては、村岡区の3中学校の統合は、いつごろになると考えてでしょうか。

【町長】 昨年12月に「村岡区3中学校統合検討委員会」を設置し、統合の時期や場所などについて話し合っていました。現在、その考えをまとめている段階です。

なお、検討していたら、統合時期については、教室を増やすなどの施設整備を考えると、早くとも平成21年度と予測しています。統合すれば、2つの中学校はなくなりますので、2年生も3年生も統合中学校の生徒になります。

奥佐津小学校6年 中田 康介 議員



私たちが毎日遊んでいる奥佐津小学校の遊具の中には、とても老朽

化し危険な状態にあるものもあります。特にブランコは1年前から使えないまま、サッカーゴールの代わりに使っているハンドボールのゴールは、根元がさびているし、バックネットは大事な接続部分がさびて離れています。

奥佐津地区、唯一の遊び場である小学校の遊具の取り替えについて、どのようにお考えでしょうか。

【教育長】 ブランコについては、この夏休みの間に同じ規模のものと取り替えますので、2学期には新しいブランコで安心して遊ぶことができます。ハンドボールのゴールと移動式バックネットについては、今後、皆さんが安心して使えるように、不良部分の取り替えなど、修理の方法を検討したいと考えています。ほかの学校の遊具にも修理が必要なものがあつたので、順番に修理をしていきますが、皆さんも大切に使ってください。

余部小学校6年 中野 康浩 議員



私たち、余部小学校児童は、昨年、今の余部鉄橋の姿をいつまでも忘れないようにと、大きな壁面に表し、体育館に飾りました。今の鉄橋を長く記憶にとどめるために、香美町として、どんなことをされる予定なのでしょう。

【町長】 貴重な余部鉄橋を未来の人にも伝えたいということで、余部駅側の橋脚3本程度を残すことにしています。また、鉄橋の記念館や道の駅をつくり、写真や映像、模型などを展示したいと考えています。どちらにしても、余部鉄橋は香美町の大事な観光資源であり、地域のシンボルです。今年も、最後のライトアップを8月17日と18日に行います。皆さんもぜひ見に行ってください。そして、あの高く美しい余部鉄橋をいつまでも忘れないでほしいと思います。

小代小学校6年 大城 葵（あおい） 議員



小代小学校では、今年、学校内だけでなく家や地域の中での「あいさつ運動」に力を入れて取り組んでいます。登校中は、登校班同士が競争し合っているあいさつをしたり、児童会が中心となつて「立ち番指導」を行っています。香

美町も「あいさつ運動」に力を入れていると先生から聞きました。どのように取り組んでおられるのか教えて下さい。

【町長】 香美町は、「人づくり」や「花づくり」などを中心とした「香り高く美しいまちづくり運動」を推進し、「温かみあふれる挨拶運動」や「思いやりの心を育む運動」を進めています。夏休みの「おはようラジオ体操」のなかで「あいさつ運動」を進めたり、「啓発のぼり旗」の設置、あいさつ・人づくり標語を募集しステッカーにするなど、各区分ごとにあいさつを啓発するよう取り組んでいます。

柴山小学校6年 宮本花穂（かほ） 議員



私は4年生のとき、総合的な学習の時間に柴山の民宿や土産物などを紹介するパンフレットを作りました。柴山の民宿を一軒一軒見せてもらって、施設のすばらしさやお料理の工夫を写真や文章で紹介しました。私たち子どもが作ったPRパンフレットや名所巡りビデオなどを町の観光PRに活用していただくことはできないでしょうか。

【町長】 皆さんが作られたパンフレットにある「釣り場案内」などについては、海の魅力のPR部分で活用させていただきます。ただけるように思いますので、来年の春・夏用のパンフレットを作成するなかで、取り入れるよう検討したいと思っています。これからも、地域の良いところを見つけて、柴山を訪れる観光客の皆さんや町の方にも教えていただきたいと思います。

香住小学校6年 多田桃子 議員



私は、4年生のときに骨折したことがあります。香住病院に行こうとしたら診察ができなくて、豊岡まで行かなくてはならなくてとても困りました。香住病院は、私が産まれたところでもあり、とても親しみのある病院です。今では、診療科が減って診てもらいたいときに、すぐ診てもらえないし、入院も遠くの病院に行かないといけないので不安です。

【町長】 今、香住病院では、内科、外科、泌尿器科、小児科にほぼ毎日診察してもらえるお医者さんがいますが、そのほかの診療科には毎日診てくれるお医者さんがいないので、大学や個人的に頼んで、週に何回か診察してくれるようお願いしています。香住病院に来てくれるお医者さんいろいろなと探していますので、皆さんの家族や知り合いにお医者さんがあられたら、紹介していただきたいと考えています。

兎塚小学校6年 黒田莉奈 議員



私は将来、香美町で学び、働き、結婚し、子どもを3人つくって穏やかな老後を過ごしたいです。そのとき、不安になるのが年をとってからのことです。最も心配なのが雪の被害のことです。村岡区は雪がたくさん降ります。年をとってからでも安心して暮らせるように雪害対策をして欲しいです。香美町の雪害対策について教えてください。

【町長】 国や県が管理する道路はすべて、消雪装置が設置されたり、機械による除雪が行われます。しかし、町が管理する町道は、通勤、通学などの通行量の多い生活道路を重点に除雪を行うため、道幅の狭い町道では、集落内に住んでいる人たちの協力で交通を確保していただいています。町では、屋根の雪降ろしを自力で行うことが困難な高齢者世帯などに対し、雪降ろしに要した費用の一部を補助する制度を平成18年から設けています。

長井小学校6年 中村有沙（ありさ） 議員



私たちの長井小学校は、とても段差が多く、車いすの方や体の不自由な方、高齢者の方には、とても不便です。いろいろな方々を安心して招いたり、気持ちよく来ていただいたりできる学校にするためにも、体が不自由な方でも使えるトイレをつくっていただきたいと思います。いかがでしょうか。

【教育長】 公共施設に洋式トイレ、できれば身障者用トイレの整備は必要だと考えています。しかし、身障者用トイレを整備するためには、大工事が必要な場合もあります。長井小学校の場合も、これに当たるため、現在でも整備ができてない状態です。2つの和式トイレを壊せば、洋式トイレを1つつくることができそうですが、トイレの数が少なくなっても問題ないか検討する必要があります。

香住第二中学校3年 米田智裕 議員



香美町施策説明授業を受けて第一印象に残っていたことは、前々から話題になっていた、香美町の財政と町債の現状についてでした。借金の返済に伴い、住民への影響については大丈夫なのでしょうか。

【町長】 当分の間、新しい町債の借入れを単年度平均12億円以内に抑制し、計画的に借金の返済額を減らし、平成27年度を目途に実質公債費比率を18%未満とし、健全な財政にしていきたいです。町債の発行を抑制することは、公共事業を抑制することにつながりますが、住民の皆さんに対し、必要な公共サービスを止めるわけにはいきません。今後は、個々の事業の必要性や緊急性を十分に検討し、事業実施に際しては、住民の皆さんに十分理解いただくよう努めていく考えです。

兎塚中学校3年 西口和則議員



ここ数年、香美町においても、漁業では漁獲量の低下が目立っています。このままでは、産業が衰え、町に住む人にも元気が出ません。漁獲量を増やすために「育てる漁業」への取り組みが欠かせないと思います。香美町でもこうした取り組みを進めておられるのでしょうか。

【町長】 香美町では、漁業資源を増やすために、以前から、兵庫県や地元の漁業協同組合と力を合わせて、ヒラメの放流を行っています。平成3年から15年にかけて、松葉ガニの稚ガニの放流を行いました。また、ベニズワイガニについては、平成17年度から7年間の計画で、資源保護の観点から、漁獲期間を1カ月短縮しています。そのほか、沿岸域では、ハマチ、ヒラメ、シロイカ、タイなどの魚のすみかとなる漁礁の造成などにも取り組んでいます。

小代中学校3年 橋本博子議員



高齢化が進み、特に小代は高齢化率40%と高いです。私は、若い人が住めるまちづくりというのは、働く場所があるということだと思います。そこで、こぶし園のような施設や設備の整った病院を建てれば、住民も助かるし、働く場所が増えることにつながると思います。町長さんのご意見を聞かせて下さい。

【町長】 町では、現在の公立香住総合病院に定員50人程度の介護老人保健施設を整備する予定です。これにより、新たな介護職員の雇用も予定しています。しかし、町が病院や介護施設をつくるのも限界があります。また、香美町では、少しでも働く場所をつくるため、工場の新設や増設を行い、若い人を雇用してくれる民間の企業や事業所に対し支援制度を設けています。

村岡中学校3年 長戸雄大議員



香美町の誇れるところは、美しい山と海です。海水浴場やスキー場も多く、また、香住のカニや村岡・小代の但馬牛などの特産物もあります。こうした観光資源を広くPRし、イベントを開き、たくさんの方に香美町に来てもらうことで町も活性化したいと思います。香美町になってから始まった新しい企画やこれから進めようとしている企画には、どのようなものがありますか。

【町長】 今までからのイベントをさらに強化していくとともに、新しいイベントも取り入れています。合併後、新しく始めたイベントは、「イカソーマン早食い大会」や「香住海岸絶景ウォーキング」などがあります。また、今後進めようとしているイベントは、カニの本場「香住」の知名度アップのため、今年10月に全国初めての「香住！カニ検定」を行います。さらに、春・秋の観光振興につながるような「アラウンドゴルフ」の大会を検討しています。

香住第一中学校3年 脇本美和子議員



香住第一中学校でも学年の人数が、ここ何年かのうちにも少なくなっているという話を聞きました。人口の減少は、これからまだまだ続くのでしょうか。また、人口減少にストップをかけるために今行っていることは何ですか。

【町長】 人口を増やすには、まず若い人に住んでもらうことと、次にこれらの人に結婚してもらうこと、さらに結婚後、多くの子どもを産み、育てってもらうことです。まず、若者に定住してもらうために、香美町に移り住んで家を建てたり、買ったりした場合や民間の住宅に入居する場合に、一定条件のもと、補助金を出しています。また、町内の若い男性と町外の女性が出会い、交流する場を設けています。このことをきっかけに今まで12組が結婚されました。

射添中学校3年 中村栞（しおり）議員



射添中学校では、矢田川のクリーン作戦や和佐父の棚田で田植えをしたり、相岡ではブナの植林などを体験しました。そのなかで、ブナ林の保全のため、神戸からボランティアで定期的に来られている方がいることを知り、地元の人ももっと環境保全に力を入れるべきだと思いました。町としても自然保全のための調査や対策を考えて下さい。

【町長】 河川や海域の水質検査は、県や町が直接行い、水生生物調査や海岸の漂流物調査は近隣の皆さんなどにお願ひしています。住民参加による「グリーン作戦」を行い、環境保全に努めたり、川の水質をよくするために、皆さんに下水道への接続をお願いしているところです。さらには、桜の植樹活動や花づくり運動の輪を広げ、町民の皆さんとともに環境保全や美化活動をいっそう強化しています。

山陰海岸国立公園の美しい景観づくりによる観光振興を



香美町では、今年度、町を代表する山陰海岸国立公園の美しい海岸景観づくりを進め、観光客増加を図るため、「魅力あふれる香住海岸景観情報発信事業」に取り組んでいます。

同時に、兵庫県但馬県民局においても、但馬「美しいふるさと顔づくり」実現のために、市町や県民の参画と協働のもとに、山陰海岸の魅力年全国的に発信するよう検討しています。今月号では、両事業の概要と今後の予定をお知らせします。

町

魅力あふれる香住海岸景観情報発信事業

- ・ 香住海岸絶景ウォーキング
- ・ しおかぜ香苑に親しむ親子大会
- ・ 今子浦地区における観光看板設置など

県

但馬「美しいふるさと顔づくり」事業
但馬山陰海岸魅力あふれる道づくり香美町推進協議会のなかで

- ・ 余部、今子浦などで、地域の方々とつしよに計画づくり
- ・ 植栽、ビューポイント整備、清掃活動など事業を展開

〈住民の参画と協働〉



都市部への魅力発信
海岸部への入込客増

香住海岸絶景ウォーキングなど、イベントで魅力体験

地質学的にも大変貴重な山陰海岸のすばらしさを知ってもらおうと5月27日に行った「香住海岸絶景ウォーキング」

には、町内外から約170人が参加されました。しおかぜ香苑から三田浜までを往復するウォーキングでは、数百万年という時間をかけて作られた海岸線や動物の足跡化石を通して、自然の雄大さを楽しみ、学びんでいただきました。

また、今子浦一帯は、以前からユウスゲなどの植栽による公園整備やゆづりすげコンサートなどを行っています。さらに、「日本の夕陽百選」に選ばれた感動的な夕日の景色を広く情報発信していきます。



▲今子浦公園に咲くユウスゲ

案内看板や道路景観整備などで観光客の受入体制を整える

町内の海岸沿いのほとんど全域が山陰海岸国立公園の区域に指定されており、道路や施設整備の際には、特に景観への配慮が求められます。



新たに観光看板を設置するときは、このことを念頭に置き、近頃では、統一的なデザイン



ドレールをダークブラウンのものに変更するなど、風景や環境に配慮した道づくりを進めていきます。

として「曲線を用いたポール看板」とし、「ポールの色は青い海をイメージした紺色」を用いるようにしています。

また、兵庫県においても、香住B&G海洋センターから今子浦海岸に至る主要地方道香美久美浜線(旧国道178号)沿いの白色のガ

しおかぜ香苑を親子で親しむ 凧揚げ&宝探し大会 参加者募集

香住浜を中心に整備が進んだ「しおかぜ香苑」で、昔ながらの素朴な遊び「凧揚げ大会」と豊かな自然景観を楽しみながらの「宝探し大会」を開催します。秋の心地よい潮風を受けながら、親子でんびりと触れ合いのひとときを過ごしませんか。

●と き 10月27日(土) 13:00～16:00

●ところ しおかぜ香苑(香住区香住)

●対 象 小学生以下の児童(保護者同伴)

●内 容

・宝探し大会…しおかぜ香苑から香住浜一帯に隠された宝を探して、賞品をもらおう!

・凧揚げ大会…だれでも楽しめる凧を作って、潮風にのせて大空へ飛ばそう!

●参 加 費 300円(凧代実費のご負担)

●申し込み期限 10月19日(金)

●申し込み先 教育委員会香住分室

●問い合わせ先 役場産業部観光商工課

下水道使用可能後、原則3年以内の接続を！

町全体接続率 59.3%、下水道に接続しましょう

●問い合わせ先
役場建設部下水道課

早期接続を！



下水道が整備された地域の皆さんは、排水設備を設置していただき、汚れた水を下水道へ流してください。町の下水道条例では、使用可能後、遅くとも3年以内に排水設備を設置していただくことになっています。

なお、工場の汚水を流す場合は、事前の届出や、汚水の水質改善のため、新たに排水設備の設置が必要になる場合があります。

●町内の下水道の使用可能区域
(9月1日現在)

・香住区：境を除いた区域
・村岡区、小代区：全域

接続に利子補給制度

下水道接続のための改造資金を借り入れた場合、利子補給(3%以内)の制度があります(使用可能後3年以内の接続の場合に限る)

各処理区別下水道接続率 (平成19年8月末現在)

香住区	処理区	接続率	供用開始年月
	香住	23.6%	H18.5 (一部 H16.3)
	奥佐津	63.3%	H14.8 (一部 H13.4)
	相谷	77.4%	H13.4
	安木	75.7%	H11.1
	佐津	96.3%	H9.3
	柴山	70.2%	H15.3 (一部 H13.4)
	長井北	94.0%	H9.3
	長井南	88.4%	H10.3
	余部	90.3%	H11.4
	鎧	88.4%	H12.4
	御崎	82.9%	H13.4
	合併浄化槽区全体	100.0%	H8 ~
村岡区	処理区	接続率	供用開始年月
	村岡	86.7%	H12.12 (一部 H9.3)
	兎塚	59.1%	H16.12 (一部 H14.3)
	射添	72.9%	H17.12 (一部 H10.11)
	大笹	92.6%	H16.12 (一部 H2.1)
	山田	62.2%	H15.8 (一部 H14.10)
	境	53.3%	H16.3
	作山	47.1%	H17.1
小代区	処理区	接続率	供用開始年月日
	小代北	68.7%	H15.3 (一部 H14.3)
	小代南	61.3%	H14.6 (一部 H14.4)
	神場	47.3%	H14.4
	合併浄化槽区全体	100.0%	
	区全体	67.0%	

町全体の接続率 59.3%



★雨水貯留・浸透施設設置補助制度 (香住処理区対象)
浄化槽などの再活用に
新たな補助制度ができました

地下水の涵養(かんよう)や水資源の有効利用を図る目的で、国の採択基準の対象となっている香住処理区に建築物を所有する人が、雨水貯留施設または下水道への接続で、不要になった浄化槽を雨水貯留施設に改造する場合に補助を行います。

★浄化槽の転用

下水道への接続により不要になった浄化槽をタンクに改造して、貯まった雨水を散水などに利用できるようになります。

・補助額：改造工事費の3分の2 (上限10万円)

★雨水浸透施設

屋根に降った雨水を地下に浸透させます。

・補助額：購入費および設置工事費の3分の2 (上限5万円)

★雨水貯留タンク

屋根に降った雨水をタンクに貯めて、散水などに利用できるようにします。

・補助額：購入費および設置工事費の3分の2 (上限5万円)

いざというときに備え、町、自主防災会、消防団が連携 火災を想定、防災訓練実施

などを行いました。

○訓練内容

次の訓練のほか各区ごとに独自の取り組みも行われました。

- ・初期消火訓練：消火器、消火栓、消防ポンプによる消火
- ・避難誘導訓練：要援護者の避難誘導など
- ・通信訓練：町対策本部への被害状況などの報告
- ・救護訓練：被災者の応急救護



▲香住区一日市 自主防災会による消火栓からの初期消火訓練



▲小代区秋岡 住民の避難後、消防団による放水訓練



▲村岡区村岡大字 10 区合同訓練 消火器の取り扱いなどを訓練



▲香住区駅前 自主防災会と地元消防団が連携しバケツリレー

こんにちは 町長です 日本一の但馬牛に

全国の優秀な和牛が、5年に一度その肉質などを競う「全国和牛能力共進会」が、来月11日から14日まで鳥取県で開催されます。

“和牛五輪”ともいわれるこの大会に、香美町からは兵庫県代表として5頭が出場することとなりました。特に、繁殖性と肉質の総合評価を行う大会のメイン部門では、出品する雌牛の全てを本町代表で占めることとなりました。

過去2回の大会で、兵庫県は上位入賞を逃しましたので、何としても今回は、高級牛肉の素牛「但馬牛」の名譽に懸けても、上位入賞を果たしてほしいものです。

従来、但馬牛は、あの霜降りの入った肉質で正に日本一ですが、体が小さいため肉量の面で不利でした。そこで今回は、若手農家が中心となって改良を加えてきた大型の牛を出品することとしました。

香美町にとって但馬牛は、松葉がにとともに本町を代表する特産です。従来からの子牛の生産だけでなく、地元での肥育も増やし、天下に誇る但馬牛の里づくりをしていきたいと思っています。

そのためにも、今回の上位入賞に大いに期待しているところです。

香美町長 藤原久嗣

火消し男が心の炎を燃やす！ 各支団消防操法大会開催



消防団員は、町民の生命・財産を守るため、日ごろから訓練を重ねています。特にこの大会は「水出し操法」で、より実践に近い操作を競います。各分団の結束力を高め、士気・規律・迅速な行動・動作に磨きをかけ、大会に挑みました。

町内各支団ごとに（香住支団 8/26、村岡支団 7/22、小代支団 7/28）、消防操法大会が行われ、優勝と準優勝の分団が、9月24日に新温泉町で開催される郡大会に、それぞれ各支団の代表として出場します。



▲香住支団ポンプ車操法の部 代表 香住特設分団



▲香住支団小型ポンプ操法の部 優勝 香住第一分団



▲小代支団ポンプ車操法の部 優勝 小代特設第一分団



▲村岡支団ポンプ車操法の部 優勝 村岡特設第四分団



▲小代支団小型ポンプ操法の部 優勝 小代第三分団



▲村岡支団小型ポンプ操法の部 優勝 村岡第十分団

「75 歳以上の人」または「65 歳以上で寝たきりなどの一定の障害がある人」は平成 20 年 4 月から老人医療保険制度が変わります！

後期高齢者医療制度が始まります

平成 20 年 3 月まで

国民健康保険や会社の健康保険に加入して、

老人医療保健制度

で医療を受けています。

平成 20 年 4 月から

高齢者だけの独立した新しい医療制度

後期高齢者医療制度

で医療を受けることになります。

●後期高齢者医療制度とは？

- ・後期高齢者（75 歳以上）などを対象とする独立した新しい制度です。
- ・被保険者が住む市区町村（香美町）が加入し、都道府県ごとに設置される「後期高齢者医療広域連合」が保険者となります。
- ・後期高齢者などの医療費のうち、受診者が医療機関で支払う窓口負担（1 割・3 割）を除いた分を、公費（国、都道府県、市町村）が 5 割、後期高齢者支援金として現役世代の若年者保険料から 4 割負担し、残りの 1 割をこの制度の対象となる被保険者の皆さんから保険料として納めていただきます。

●対象となる人（被保険者）

- ・広域連合区域内（県内）の市区町村に住む「75 歳以上の人」、または、「65 歳以上で寝たきりなどの一定の障害がある人（広域連合の認定を受けた人）」が対象となります。

●保険料（平成 19 年 11 月ごろ、兵庫県後期高齢者医療広域連合議会で決定の予定）

- ・所得に応じて決められた保険料を被保険者全員が負担します。
- ・保険料は原則として「年金から天引き」されます。
- ・会社の健康保険や共済組合などの被扶養者で、これまで自分で保険料を払っていなかった人も保険料を負担します。
- ・特別な理由なく保険料を滞納したときには、保険証を返還してもらい、「資格証明書」が交付され、医療費は全額自己負担になります。

●医療給付など

- ・被保険者全員に、後期高齢者医療制度独自の保険証が 1 人に 1 枚交付されます。
- ・医療機関受診の際は、保険証を提示し、これまでどおり医療費の一部を負担します。
- ・自己負担限度額を超えた分、治療用補装具（一部負担支払後）の医療費などの給付は、これまでの老人医療保健制度と変わりません。

●問い合わせ先

兵庫県後期高齢者医療広域連合事務局 ☎078・326・2612、
役場健康福祉部健康課、各地域局健康福祉課



▲ご自慢のジャンボヒマワリたちと後垣さん

今年行われたジャンボひまわりコンクールには、36 人の応募があり、次のとおり各部門の入賞者が決定しました。昨年に続きジャンボひまわりの部に加え、ファイブヒマワリの部でも優勝された後垣晶一さん（写真）は「去年の反省点を生かし、管理を徹底しました。毎日世話をしている」と植物もこたえてくれるのかなあ」と感想を語ってくれました。

○ジャンボひまわりの部（1 本の高さ）

1 位	後垣晶一さん	（香住区大谷）	6
2 位	小田垣恵さん	（香住区大野）	5
3 位	原久さん	（香住区八原）	5
○ファイブひまわりの部（5 本の高さの合計）			
1 位	後垣晶一さん	（香住区大谷）	27
2 位	原久さん	（香住区八原）	25
3 位	小田垣恵さん	（香住区大野）	24
○多輪の部（1 本の花の数）			
1 位	中村艶子さん	（村岡区宿）	13
2 位	前田好弘さん	（村岡区耀山）	54
3 位	川本美代子さん	（村岡区和田）	43

○特別賞（道路沿いなどで多くの人の目を楽しませたなど）
濱戸瑛子さん（香住区境、安木地区婦人部（香住区安木）、宿和楽会（村岡区宿、西村計一さん（村岡区日影）、井口清子さん（小代区石寺）

香り高く美しいまちづくり運動 ジャンボひまわりコンクール結果

満 65 歳以上の方の インフルエンザ予防接種料を一部公費負担します

満 65 歳以上の方がインフルエンザの予防接種を希望される場合、費用の一部を公費負担しています。今年度も、香美町では次のような要領で行います。

●対象者

香美町に住所がある満 65 歳以上の人で接種を希望される人（年齢は、予防接種を受ける時点で満 65 歳以上であること）ただし、60 歳以上 65 歳未満で、心臓・腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害を有する人も、接種の対象となります。（詳しくは、役場または地域局におたずね下さい）

●実施期間

10 月 1 日（月）～ 12 月 31 日（月）

●実施方法

- ・接種を希望される人は、希望する実施医療機関に直接予約をしてください。
- ・各医療機関で問診票を記入し、医師が診察の結果、『接種可能な状態』であると判断した場合に、予防接種を受けることができます。

●注意事項・持ち物など

- ・予防接種を受けるときは、①保険証と②健康手帳が必要です。健康手帳をまだお持ちでない人は、役場または地域局であらかじめ交付を受けておく必要があります。
- ・予防接種を受けた人は、自己負担分として医療機関に 2 千円を支払っていただきます。ただし、公費負担を受けられるのは、実施期間内で 1 人 1 回のみとなります。
- ・生活保護世帯の人は無料ですので、その旨を受付で申し出てください。
- ・インフルエンザの予防接種は、インフルエンザの予防や、かかっても重症になることを防止する効果があるといわれています。普通の風邪の予防にはなりません。

●実施する医療機関

区	医 療 機 関	所 在	電 話 番 号
香住区	公立香住総合病院	香住区若松 540	0796・36・1166
	佐津診療所	香住区無南垣 165	0796・38・0459
	下山医院	香住区香住 1828	0796・36・3250
	成田医院	香住区香住 1702	0796・36・2771
	山本クリニック	香住区香住 1014 - 1	0796・39・1525
村岡区	公立村岡病院	村岡区村岡 3036 - 1	0796・94・0111
	村瀬医院	村岡区村岡 347	0796・94・0003
小代区	小代診療所	小代区城山 301	0796・97・2023



●問い合わせ先 役場健康福祉部健康課、各地域局健康福祉課

おめでとうございます
町内から表彰受賞者がありました

●兵庫県知事表彰

優良愛育班員

石井久枝さん

（村岡区高津）

●兵庫県愛育連合会長表彰

優良愛育班員

井口千代美さん

（小代区石寺）

中村千恵子さん

（村岡区長須）

森道子さん

（村岡区入江）

山居玉野さん

（村岡区原）

●兵庫県知事感謝状

道路環境美化活動約 20 年

澤田郁郎さん

（香住区浜）

交通安全県民運動啓発ポスターに
香住二中学生の 2 作品採用

9 月 21 日（金）から 30 日（日）の「秋の全国交通安全運動」兵庫県版の啓発ポスターとパンフレットに、昨年度の交通安全ポスターコンクール（財）兵庫県交通安全協会主催）で優秀作品に選ばれた香住第二中学校の生徒 2 人の作品が採用されました。



▶ポスター
今春卒業 小田恵里さん
（香住区訓谷）



▶パンフレット
3 年 亀村悠真くん
（香住区訓谷）

“夜空に浮かぶ有終のきらめき”

ライトアップ余部鉄橋

8月17日、18日の2夜行った余部鉄橋ライトアップ。その雄姿を一目見ようと、全国から大勢のファンが詰めかけました。

明治45年の完成から約100年。建設当時、東洋一の規模を誇り、今日まで地域の発展を支えてくれた香美町の財産・余部鉄橋。現地では、すでに余部橋梁架替工事が本格化しつつあるなか、その雄姿をいつまでも心に刻んでもらおうと、「明日の余部を創る会」と町が主催したもので、約10基の水銀灯などで海側からライトアップしました。

初日の17日には、19時30分ごろから点灯式が行われ、地元余部小学校6年生の前川勝己さんと谷口充代さんが照明のスイッチを入れると、鉄橋の雄姿が夜空に浮び上がり、大歓声が上がりました。

この日は日本海の波も穏やかで、水面にもライトアップの光が映り、幻想的な景色となっていました。最後のライトアップに名残が尽きない様子で、多くのカメラマンが何度も何度もシャッターを押していました。



公立香住総合病院 眼科

10月中旬から院内開設診療所へ

公立香住総合病院の眼科が、10月中旬から院内開設診療所となり、個人医院に変わります。

院内開設診療所とは、公立香住総合病院の施設の一部（診察室、待合室、廊下、駐車場など）を開放し、病院内に個人医院を開設してもらうもので、但馬の公立病院では初めての事例です。

開設されるのは、平成5年7月から平成7年6月、平成10年4月から平成14年7月までの約6年間香住病院の眼科医として勤務した経験のある村田吉弘氏（43歳・養父市）です。開設場所は、現在の産婦人科外来の診察室で、専用玄関は公立香住総合病院の西側（香住谷川側）に設置され、受付や精算も公立香住総合病院とはまったく別になります。

なお、今回の工事に伴い、現在の産婦人科外来診察は、臨時的に病棟3階に移し、女性の健診などを行うこととしています。



9/29 ~ 10/9 秋田わか杉国体

応援しよう！香美町から国体出場



輪違 晃輔くん

（村岡区萩山出身・社高校3年）

【種目】バレーボール

ポジション：サイドアタッカー

【近況】6月の兵庫県総合体育大会で10年ぶりにライバル市立尼崎高校をやぶり優勝。

【抱負など】高校生活最後のし

めくくりの大会なので、今までやってきたことをすべて出しきりたい。昨年と違い、3年生になり、試合に対する責任感も増している。将来は、地元に戻り中学校の体育教師になりたい。

【開催日・場所】10/5 ~ 横手市増田体育館



松井 優也くん

（香住区沖浦出身・隠岐水産高校3年）

【種目】セーリング 少年男子シーホッパー級SR

【近況】8/5 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会4位。生徒会長も務め高校生活も充実。

【抱負など】昨年は2人乗りで

したが、今年3月から1人乗りのシーホッパーに切り替えました。高校最後のレースなのでトップグループを走り、悔いの残らないよう実力を出しきり、満足のいくレースをしたい。

【開催日・場所】9/29 ~ 船川港特設セーリング競技場

青少年の健全育成に向け

香美町青少年育成対策指針を決定

7月12日、香美町青少年問題協議会が開催され、今年の香美町青少年育成対策指針が決定されました。

今後、この指針を基に、各学校・PTA・団体・関係機関・自治組織などと協力し、青少年の健全育成活動を推進します。

平成19年度香美町青少年育成対策指針

「地域ぐるみで健やかな子どもを育てるよい環境をつくりあげよう
健やかな育成を阻害するおそれのある行為から青少年を保護するために」

- ① 香り高く美しいまちづくり運動を積極的に展開し、人間関係の基礎となるあいさつや社会生活上の規則を身に付けさせよう。
- ② 健やかな育成を阻害するおそれのある図書等を置かないようにしよう、またこれらの自動販売機を置かせないようにしよう。
- ③ 未成年者に喫煙を止めさせるよう家庭、学校、地域が一丸となって取り組み、タバコの害から青少年を守ろう。

④ 未成年者に飲酒をさせないようにしよう。また、薬物の害から青少年を守ろう。

⑤ 地域ぐるみの見守り活動を実践し、子どもたちを不審者から守ろう。

⑥ 露骨で醜悪なテレビ番組やビデオ、インターネット上の違法・有害情報から子どもを守ろう。

以上のうち特に③、⑥を本年度の重点取り組み項目とします。

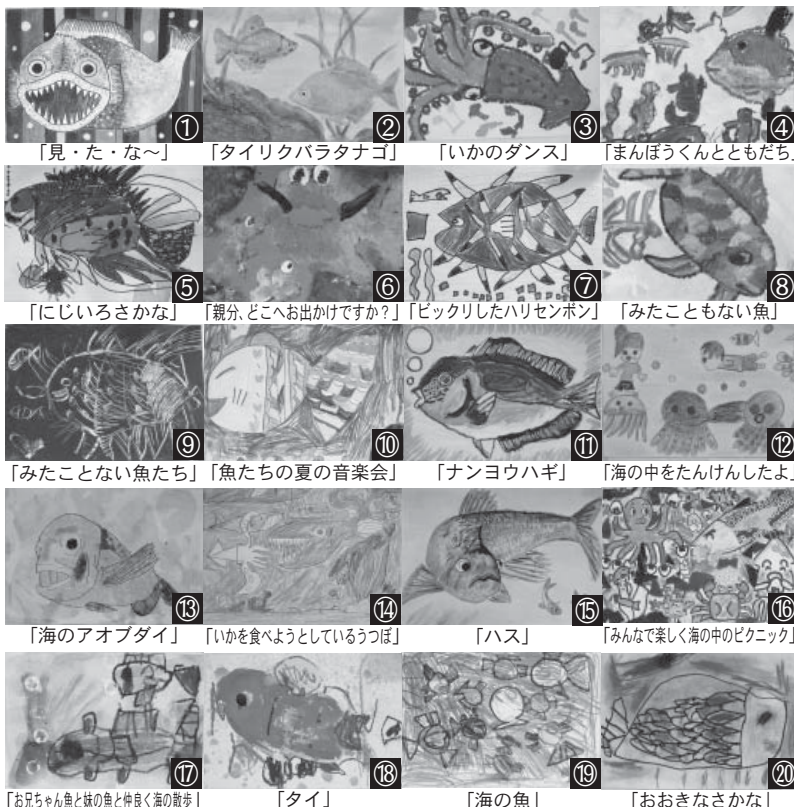
(紙面の都合上、「5つの実践項目」のうち特に地域ぐるみでの取り組みについての部分を掲載していません)

香美町教育の目標

- 「豊かなところで郷土への愛着と誇りをもつてたくましく生きる人づくり」
- ・志に挑戦するたくましい子どもを育てよう
 - ・ふるさとに愛着と誇りをもつ子どもを育てよう
 - ・思いやりといたわりの心をもつ子どもを育てよう

第4回「魚の絵コンテスト」結果発表

幼児から一般まで町内外から459点の応募作品がありました。優秀賞に選ばれた作品を紹介します。



はがきサイズのキャンパスに思い思いの魚を描く「魚の絵コンテスト」。今年は、力作459点の応募がありました。

審査の結果、次の20点の作品を優秀賞に選びました。(敬称略)

- ①一般の部 武重 由紀 (下関市)
- ②一般の部 長谷川 令美 (香住一中2年)
- ③小学生の部 中村 二千夏 (浜坂東小1年)
- ④小学生の部 谷口 裕樹 (浜坂東小1年)
- ⑤小学生の部 山根 宇宙 (村岡小1年)
- ⑥小学生の部 川端 裕人 (香住小1年)
- ⑦小学生の部 佐崎 唯人 (田鶴野小2年)
- ⑧小学生の部 尾崎 桃香 (浜坂東小2年)
- ⑨小学生の部 沼田 なつみ (佐津小)
- ⑩小学生の部 水野 華音 (生野小2年)
- ⑪小学生の部 堀名 宏紀 (香住小3年)
- ⑫小学生の部 濱戸 香奈 (香住小3年)
- ⑬小学生の部 藤原 亮大 (佐津小3年)
- ⑭小学生の部 石川 けいた (藤ヶ丘小5年)
- ⑮小学生の部 福本 有梨 (香住小5年)
- ⑯小学生の部 中瀬 宝 (奥佐津小6年)
- ⑰幼児の部 山田 歩夢 (青葉保育園)
- ⑱幼児の部 小谷 朱門 (宝樹保育園)
- ⑲幼児の部 西谷 美音 (兎塚幼稚園)
- ⑳幼児の部 田中 心 (諸寄幼稚園)

●問い合わせ先 役場産業部農林水産課

特色ある活動で地域の活性化に取り組む“がんばる団体”のご紹介！

私たち、こんなことに取り組んでいます！

三番叟で地域のつながりを深める

▶ 今年の三番叟の踏み子、はやし方、役員の皆さん



昭和 60 年ころ、地元の青年団活動や民芸保存会などの解散とともに、それらの思いを引き継いで立ち上がったのが訓谷若手会。現在 30

佐津地区 くんだにわかつて 訓谷若手会（訓谷）

数名の会員が主となり、盆踊りや秋祭りなどを盛り上げています。特に秋祭りでは、毎年祭りの 1 ヶ月前から毎晩三番叟を踏む子どもたちの指導を行うとともに、脚本から演技まで会員自ら行う村芝居にも励むなど、訓谷若手会がまさに中心となって取り組んでいます。

今年会長となった黒崎勇一さんは「特に三番叟は、踏めること自体が家族親類にとって、大変名誉なこととされ、町外の親戚もわざわざ三番叟を見に帰省するという地区の大きなイベントになっており、教える方も熱が入ります。今年も順風満帆に楽しく終わるようがんばります」と抱負を語ってくれました。

○三番叟などの予定（沖野神社にて）

・宵祭り 10 月 1 日（月） 19:45 ～三番叟、21:00 ～村芝居
・本祭り 10 月 2 日（火） 13:15 ～三番叟（本番）

地域の活性化、地区の原動力として

射添地区 おとなせ 音無瀬会（味取）



昭和 52 年に地元の有志で地域社会の振興を図ることを目的に発足し、今年で 30 年目。現在、会員は、高校を卒業したばかりの若者から

55 歳までの青壮年の 32 人。

射添地区伝統芸能大会、秋祭りなどの地域行事に積極的に協力。また、河川敷の美化など、年間を通じて地域づくりに貢献しています。

中でも毎年 8 月 15 日に行う「川で遊ぼう大会」や、2 年に一度 10 月 1 日の秋祭りの村芝居では、脚本から演出まですべて音無瀬会が行い、2 ヶ月前から練習を重ね、当日は自らの手で体育館に特設ステージを設置、1 時間余りの芝居を上演しています。

代表の今後武司さんは「毎年同じことを続けていくことはとても大変なことですが、先輩から受け継いだものは、これからも伝え残していかなければいけないと思い頑張っています」と熱く語ってくれました。

喜んでいただけるのがうれしくて…

余部地区 鎧婦人会（鎧）



鎧婦人会（会員 28 人）は、鎧区福祉部とともに主催するいきいきふれあいサロン『転倒予防教室』に、健康のため区民みんなで参加する

よう呼びかけるなど、これまでから女性らしい視点、発想で、地元の皆さんがいきいきと暮らせるようないろいろな活動に取り組んでいます。

その一つ、国道 178 号沿いのまさに鎧集落への玄関口での花づくりについて、会長の辻井玲子さんは「とってもいい場所に花壇をつくりましたが、最初は石だらけでとても花を植えられる状態ではありませんでした。また、近くに水場もなく、集落から水を汲んできて水やりをするなどとても大変でした。今年、区長さんが近くに水のタンクを設置してくださり、とても助かっています。地元の皆さんや訪れる人たちが喜んでくださり、ようがんばっとんなるなあと言われるとうれしくて、ずっと続けたいと思うんです」と語ってくれました。

求 人 情 報					ハローワーク香住（職業安定所）				
					☎0796・36・0137		(平成 19 年 8 月 20 日現在、順不同)		
▽正社員					▽パートほか（正社員以外）				
所在地	事業所名	職種	年齢	人数	所在地	事業所名	職種	年齢	人数
香住区上計	カネサ水産(株)	水産加工員	40 以下	1	香住区浦上	(有)三吉(かに楽座甲羅蔵)	旅館の夜警と宿直	30 以上	1
香住区一日市	但馬ディーゼル(有)	一般事務	不問	1	大阪市北区 (勤務：香住区)	(株)新日本 本社	土木施工管理業務 (鉄橋架替工事)	不問	3
香住区香住	B A R凸凹	店長候補	35 以下	1	香住区香住	ライムライト	接客係	20 ～ 35	2
香住区加鹿野	(株)香住自動車教習場	教習指導員	35 以下	1	香住区境	(株)香美町観光公社	接客係	不問	3
香住区下岡	香住食研(株)	食品製造	不問	2	香住区浦上	(有)いわや	接客係	18 ～ 50	2
香住区下浜	(有)さだ助	調理師	20 ～ 40	1	香住区下浜	(有)さだ助	接客・調理など 18:00 ～ 22:00	45 以下	2
香住区香住	(有)アイ・ティー	店長、副店長	不問	2			接客・調理など 14:00 ～ 18:00	45 以下	2
香住区香住	(株)ステップ	事務	20 ～ 40	1			食品加工(干市)	不問	2
香住区沖浦	(株)カネト水産	水産加工員	18 ～ 52	3			香住区香住	かずみ福祉サービス(有)	介護職員
香住区若松	(有)K-SIN TRANSPORT	運転手	50 以下	5	香住区余部	(株)カネリョウ商店	運搬・出荷作業	不問	1
香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科衛生士	35 以下	3	香住区三谷	(株)トキワ	調味料などの製造	50 以下	5
東京都新宿区 (勤務：香住区)	テスコ(株)	設備管理技術者 (未経験者可)	不問	1	村岡区和池	(株)グルメ軒屋 ロジカどま	接客応待	不問	6
村岡区福岡	北部ガード	交通誘導	不問	3	村岡区高井	入江精密工業(有)	アルミ部品検査 ・軽作業	40 以下	1
村岡区入江	(株)タノ	土木建築技術職	不問	2	小代区神水	社会福祉法人 みかたこぶしの里	嘱託看護員(看護師)	不問	1
村岡区福岡	(株)西村工務店	建築施工管理技師	25 ～ 40	1			嘱託調理員	不問	1
村岡区村岡	エイフ電器(株)	マシーンキーパー マシーン基板検査員	18 ～ 40	2			臨時介護員	不問	1
村岡区高井	(有)中村建工	建築、監理、監督、設計	30 ～ 55	1			嘱託介護員	不問	2
小代区大谷	田野電機商会	電気工事士(見習可)	30 以下	2					
小代区城山	(株)大城土建	現場監督	不問	1					

◆「(仮称) 浜坂道路」に関するアンケート調査結果について◆

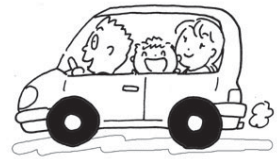
「(仮称) 浜坂道路」に関するアンケート調査へのご協力、ありがとうございました。アンケート結果は兵庫県ホームページに掲載中ですのでご覧下さい。なお、結果の詳細につきましては後日全戸配布する予定です。

●ホームページアドレス

http://web.pref.hyogo.jp/tj05/tj05_5_000000009.html

●問い合わせ先

但馬県民局 新温泉土木事務所 居組道路課 ☎0796・82・3141



お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控えさせていただきます。

※このコーナーは、先月(8/1～8/31)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

※このコーナーは、先月(8/1～8/31)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)

●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎 36・1111(代表)
 総務課 36・1111 企画課 36・1962 税務課 36・1113 会計課 36・4321
 町民課 36・1110 健康課 36・1114 福祉課 36・1964 農林水産課 36・0846
 観光商工課 36・3355 建設課 36・1961 下水道課 39・2053 水道課 36・0420
 議会事務局 36・1963 村岡地域局 94・0321(代表) 小代地域局 97・3111(代表)
 教育委員会 94・0101 香住分室 36・3764 小代分室 97・3966
 公立香住総合病院 36・1166 公立村岡病院 94・0111 香住地域福祉センター 36・4345
 香住老人福祉センター 36・5008 村岡老人福祉センター 98・1000
 小代高齢者生活支援センター 97・2202 (全ての施設の市外局番:0796)

まちの出来事

第5回真夏の雪合戦大会 熱い戦い繰り広げられ

(小代区)

8月5日、晴天の下、小代健康公園で第5回真夏の雪合戦大会が開催され、県外からの参加も含め、12チームが争いました。



1チーム7人で雪球の代わりにお手玉のような室内公式球をぶつけあいながら、相手チームのフラッグめがけ攻め込む白熱した戦いが繰り広げられました。村岡区の岡田快人さんは「冬と違い、青空の下で汗をかき、勝っても負けても相手チームと親交を深めることができるのが楽しい」と感想を述べました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)
①村中高アカントレーズ(村岡区) ②チーム酒の粕(新温泉町) ③高松クラッシュヤラン(高松市) 全但友の会(村岡区)

▼玉が飛び交うなか、玉をよけながら攻め込みます。



夏の収穫祭 とれたて野菜をどうぞ！

(村岡区)

8月11日、夏真っ盛りの青空の下、道の駅村岡ファームガーデンで、夏の収穫祭が開催され、地元でとれた新鮮な夏野菜の即売会や冷やしトマトの販売、第3回冷やしトマト早食い大会が行われました。

冷たく冷やしたトマト1kgを丸かじりし、どれだけ早く食べられるかを競う冷やしトマト早食い大会では、選手らが真っ

▼今回最年少出場で奮闘中の上田くん(手前)



赤なトマトを口いっばいにほうばり、奮闘していました。友だちと参加した村上朋くん(7歳・村岡区西本町)は「思ったよりしんどかった。今日はもう、トマトはいらない」と感想を話してくれました。優勝は、村岡区大笹の西村吉雄さん(79歳)で、時間は2分54秒でした。

排他的経済水域海底清掃作業 底曳き漁解禁前に漁業者憤り

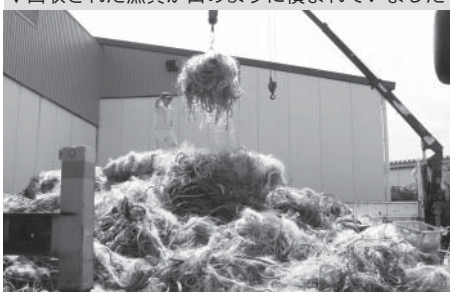
(香住区)

8月10日、11日にかけて、香住漁港10隻と柴山港10隻の底引き網漁船が、それぞれ山陰沖の日本の排他的経済水域(EEZ)での海底清掃を終え、韓国船のものと思われるパイカゴ、カーガゴ、刺し網、ロープなどの違反漁具を大量に持ち帰りました。これは、平成12年度から国の委託を受け、全国底曳網漁業連合会が主体となり取り組んでいるもの。10日、香住漁港に帰港した但馬漁協所属の「共進丸」の福本吉彦船長は「掃除しても掃除してもきりがない。だんだん悪質になり、量も増えてきている。網にはたくさんのカナガがかっており、ただただ腹が立つ」と怒りをあらわにしていました。同船だけでもパイカゴが約800個をはじめ刺し網やロープなどトラップに数台分の漁具がありました。両港で回収された漁具は、合わせて約250トンになりました。



▲次々に陸揚げされる回収漁具(柴山港:左、香住漁港:右)

▼回収された漁具が山のように積みまれていました



9トンになりました。

第13回射添地区伝統芸能大会 みんなで残そう伝統芸能

(村岡区)

8月18日、村岡区川会の射添中学校運動場で、射添を考える会、青壮年部が主催する第13回射添地区伝統芸能(盆踊り・芸踊り)大会が開催されました。これは、地域の活性化と連帯感の強化、地域芸能を継承することを目

▼祖岡(左)と川会(右)の子どもたちの迫力ある演技。



的に「みんなで残そう伝統芸能」をテーマに行われたものです。いくつものちやうちに照らされた会場では、射添小学校少年少女音楽隊の演奏を皮切りに、地踊り、川会長楽太鼓が披露されたあと、味取、高津、川会、長板、祖岡の芸踊りが披露され、迫力ある演技に観客の皆さんから大きな拍手が飛び交っていました。この日は、帰省している人も多く、懐かしい顔とともにふるさとの夏を満喫していました。



▲やぐらの周りで繰り広げられた盆踊り

ニューヨーク在住料理人山崎自修さん 「チャンスを生かし、失敗を恐れずに」

(香住区)

8月24日、ニューヨークでレストランの料理長として腕を振るっている山崎自修さんが、町長を表敬訪問されました。山崎氏は、昭和40年生まれで、香住区西の出身。県立香住高等学校を経て、調理師の専門学校を卒業。神戸市内のフランス料理店で働いていましたが、阪神大震災で店がなくなり、知人の紹介で和食の世界に入りました。専門学校時代の友人から「ニューヨークの日本食レストランで働かないか」という誘いがあり、いったんは断わりましたが、「オープンだけでも手伝ってほしい」という言葉に承諾し、ニューヨークに渡ることを決意しました。それから5年、一昨年からレストランの料理長を務めておられます。山崎さんのレストランは、「会 K A I」と言い、ニューヨークでもベスト10に入るとも言われる人気の店で、地元の酒「香住鶴」も置いておられます。

▼藤原町長と握手する山崎氏(左)



料理の世界に入ったきっかけについて「子どものころ、家族に作った天ぷらが好評で、すっかりその気になったんです。それから、毎日のように夕食を作ったりしました」と振り返り、「私も最初からニューヨークに行きたかったわけじゃない。ただ、チャンスがきて、そして、実際に行ってみてはじめて、その世界のことがあった。チャンスは大切に、失敗を恐れずに、チャレンジしてほしい」と語ってくださいました。

心のふれあう町民の集い 取り戻そう、心豊かに暮らしたころ

(小代区)

8月26日、小代区総合センターで、「人権文化をすすめる町民運動」月間事業として、豊岡市立コウノトリ文化館館長の松島興治郎氏を講師に迎え、『人と自然との共生』『コウノトリも住める町づくり』と題して、心ふれあう町民の集いが開催されました。

松島氏は、昭和35年に豊岡市の出石川で撮影された『46年前みんなで暮らしていた』農婦と放牧の但馬牛、そして12羽のコウノトリの写真を披露され、「当時はみんなで暮らしていた。このごく当たり前であった風景をもう一度取り返したい。今まで私たちは自然を食いつぶしながら生きてきた。これからは生かされているという意識を持って生きていくことが大切。コウノトリも住める町づくり。人と野生動物が共存できるような、誰もが平等に生きていける心の広いまちづくりをしていかなければならない」と強く呼びかけられました。

▼コウノトリ復活の体験談も語る松島氏



▲大画面にコウノトリの映像も紹介されました。

